

広報あかひけ

昭和61年

8

No 283

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎ (代表) 28-2004

町の人口 人口10,127(-5) 男 4,808(+1) 女 5,319(-6) 世帯合計 3,382(+1) 61年6月末日現在 ()内は前月との比較です



出迎えの職員の拍手の中を初登庁
する日野喜美男新町長＝7月23日

(とじて保存してください)

8月は 町県民税2期分・国民健康保健税3期分 の納税月です



激戦

日野 自助の

衆・参同時選挙 / 赤池町の投票結果

衆議院議員総選挙		当日の有権者数	7,362
		投票者数	6,058
		投票率	82.29%
党派	氏名	得票数	得票率(%)
日本社会党	中西せき介	2,021	34.95
自由民主党	尾形 智矩	1,052	18.19
公明党	かじ 清	985	17.04
自由民主党	じみ庄三郎	809	13.99
日本共産党	三浦 久	560	9.69
民社党	村田なおじ	355	16.14
計		5,782	100.00
参議院選挙区選出議員選挙		当日の有権者数	7,362
		投票者数	6,057
		投票率	82.27%
日本社会党	わたなべ四郎	2,001	35.72
公明党	くわな義治	1,067	19.05
自由民主党	もとむら和喜	1,008	18.00
自由民主党	福田 幸弘	889	15.87
日本共産党	有馬 和子	583	10.41
社会主義労働者党	城戸やすたか	42	0.75
無所属	和智 正行	11	0.20
計		5,601	100.00
参議院比例代表選出議員選挙(上位8党)		当日の有権者数	7,362
		投票者数	6,043
		投票率	82.08%
日本社会党		1,902	35.77
自由民主党		1,550	29.15
公明党		840	15.80
日本共産党		489	9.20
民社党		158	2.97
第二院クラブ		118	2.22
サラリーマン新党		44	0.83
新自由クラブ		39	0.73
その他の政党等		177	3.33
計		5,317	100.00



新しく町議会議員に決まった
高林篤氏(右)と峯岡均氏(左)

監査委員に木月繁美氏 3議案を可決 7月臨時議会

選挙後初めての臨時町議会が、七月二十八日、一日間の会期で行われました。

新しく当選した高林、峯岡両議員の議席決定の後、六月二十二日病氣のため死去された木村信行議員の追悼議決が行われました。

山下厚生委員長が追悼の辞を述べ、これに答えて遺影を抱いた遺族を代表して木村光さん(松本)が謝辞を述べました。

今回の議会には、三件の議案が上程され、いずれも原案どおり可決されました。

○議案38号 赤池町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法が改正されたことと医療費の高騰により、国保税の税率などが改正されました。

主な改正点は、税率の所得割が百分の八・一から同八・八に、資産割が百分の六十五から同六十三に、また、被保険者均等割額および世帯別平等割額がそれぞれ一人、一世帯について千円引き上げられました。なお、課税最高限度額も三十五万円から三十七万円に改正

されました。

○議案39号 赤池町監査委員の選任について

町議会議員から選任の木村信行氏の死去により、新しく木月繁美氏が選任されました。

○指名1号 議会常任委員会委員の選任について

新しく議員になられた高林篤氏は厚生常任委員に、峯岡均氏は総務常任委員に指名されました。



監査委員に選任された木月
繁美議員

喜美男氏が初当選

精神を尊び活力ある街づくりを

		得票数	氏名	職業	年齢	住所
町長選	当	3,408	日野喜美男	無職	53	大字赤池551番地の25(松本)
		3,024	香月章	農業	56	〃 〃 371番地(伏原)
		45	山下譲治	無職	52	〃 〃 905番地(上の原)
町議補選	当	1,797	峯岡均	建設業	33	〃 〃 330番地の7(寿)
	当	1,658	高林篤	建設業	54	〃 市場639番地(8の3)
		1,621	浦田春彦	農業	53	〃 上野917番地(大谷)

七月二十一日には、初当選された三氏に皆川正登選挙管理委員会委員長からそれぞれ当選証書が授与されました。

委員長は、「初心を忘れず、町民のために一層努力してください」とあいさつしました。

日野喜美男新町長は、七月二十三日、出迎える職員の手の中を初登庁。女子職員から手渡された花束を手に、委員会室で、「これまでのやり方を大きく変えることはない。財政問題に直面しているが、できる限り国・県に頼らず、まじめに働き、自らの力で運命・道を切り開く自助の精神を尊びたい。選挙中、多くの人の意見を聞いた。行政改革大綱を踏まえ、第二次総合計画を作り上げ、町内に出て色んな意見を聞き、活力ある街づくりを目指す」と所感を述べました。



皆川正登選挙管理委員会委員長から当選証書を受ける日野喜美男氏(7月21日、役場で)

朝一番に投票して、投票箱の中を確認していただいた方

○衆・参同日選挙

- 第1投票所(役場) 伊藤庫太郎さん(貴船)
- 第2投票所(上野小) 松葉盛夫さん(常福)
- 第3投票所(中尾) 世良義高さん(町伏原)

○町長・町議補欠選挙

- 第1投票所 白川美智高さん(八ノ四)
- 第2投票所 定宗ハル子(山崎)
- 第3投票所 馬場義輔さん(西町)

投票の結果 (町内3投票所計)

	町長選	町議補選
選挙当日の有権者数	7,266	7,266
投票者総数	6,577	6,564
投票率(%)	90.52	90.34
無効投票	100	1,488
有効投票	6,477	5,076

町議補欠選は峯岡氏・高林氏

町長辞任に伴う町長選挙と町議会議員補欠選挙は、七月十五日に告示され、七月二十日、町内三つの投票所で行われ、投票が行われました。

投票率は、町長選挙で九十五・二%と、前回(昭和五十九年七月)を二・三八%下回りました。

町議会議員補欠選挙の投票率は、九十三・四%でした。

同日、午後七時半から町民会館で行われた選挙会では、多くの人が詰めかけ、開票事務を見守りました。町長選挙では、激戦の末、前助役の日野喜美男氏が三百八十四票差で元町長の香月章氏を破り初当選しました。

一方、町議会議員補欠選挙では、空白の二議席をめぐる三氏が激しく戦い、わずかの差で峯岡氏と高林氏が当選しました。

両氏は、来年四月までの任期を務めることになります。

ご存知ですか＝工場の課税免除＝ 赤池町工場誘致条例

赤池工業団地（福祉センター下、約30万㎡）は、昭和63年秋の公募を予定に現在、地域振興整備公団の手で第1期の整備工事が進められています。

赤池町では、産炭地域振興臨時措置法に基づき、積極的に工場を誘致し、産業の振興と雇用の増大を図るため工場誘致条例を制定しています。

【減免措置】

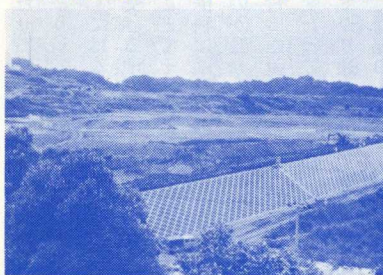
工場設置のため新たに取得した固定資産に賦課する固定資産税については、3年を限度として決められた範囲内で減免措置が受けられます。

【基準】

事業の用に供されることとなった機械および装置ならびに建物でその取得価格の合計が1,700万円をこえ、かつ、常時使用する従業員の数が10人以上の工場を新設または増設するもの。

この規定の適用を受ける場合は申請書を町に提出しなければなりません。

また、同様に法人税や事業税、不動産取得税などの国・県税についても優遇措置が受けられ、工場再配置補助金や雇用給付金などの



▶整備が進む赤池工業団地◀

融資制度の適用も受けられます。

くわしくは、役場産業振興課または税務課にお問い合わせください。

投稿

俳句雑考 ①

三木 春翁

硬山に盆の手向の香を焚く
この句は、昨年の盆の十四日、伏原の田川西国西部札所の境内で硬山を仰ぎ、香を焚きながら詠んだ句である。

硬山は坑夫の墓標——と詠んだ俳人もいる。赤池炭坑廃山後二十年。筑豊——赤池の地に生れ育った私にとって、硬山は忘れ難い思い出を内蔵している。神にませばまことつるはし那智の滝（虚子詠）

仰ぎ、盆の手向の香を焚いたのである。
つれづれ 68
老人ホーム天郷荘 松本 たかし
流水の池に落つ音明け易し
池めぐるさつき咲きけり燃ゆること
一声の鳥舎の孔雀木々青葉
老鷹の合間に聞こゆ峽館
画家の意図広報八月ファッション化
内科医の増員充実仲夏の町
長廊下連れとの飛燕まよい込む
上野路の田植年毎淋し減る
デザートのフルーツポンチや扇風機
簞笥購ふ先ず夏ものを下の箱

待ち合い室

六月より町立病院へ赴任しました廣瀬です。九月から研修へ出られる北先生の後任として、内科を担当します。

町立病院に勤務して約一ヶ月になりますが、外来の患者さんの多さと、次々と入院し、また良くなって退院していく病棟の入院患者さんの多さに、住民の皆さんの町立病院への期待と信頼の大きいのに身の引き締まる思いです。



私の専門は内科ですが、内科と言うと、熱があるのかぜでもひいたかなどか、頭痛がするが血圧が高いのではとか、最近体がだるいがお酒を飲み過ぎで肝臓でも悪くしたのでは、ということで診察に来られる、そういうイメージが強いのではないかと思います。確かに患者さんを悩ませその健康を犯している病気を治療することは、内科医にとって、最も大切なことの一つですが、同じように、疾病の予防・早期発見、慢性的病気に対する教育・指導、そしてリハビリテーションや食事指導が重要な責務になっています。

現在、日本人の三大死因をみても、悪性新生物（ガン）・脳血管障害（脳卒中など）・心臓血管障害（心筋梗塞・心臓病など）とその疾病の治療と同じように、その予防・早期発見・リハビリテーション・食事指導などが大変重要な疾患ばかりなのです。町立病院でも、患者さんを待つ医療である外来・入院診療ばかりでなく、ガン検診としての胃透視・腹部超音波検査（エコー）などや、高血圧・心臓病の予防・治療のための栄養士による食事指導、また脳卒中や心臓病患者さんへのリハビリテーションなどを現在行なっています。また、現在増加している糖尿病の患者さんとその家族の方のために、糖尿病の理解とその治療のための糖尿病教室も、近々開講したいと考えています。その他、高血圧や成人病についても、住民の皆さんの希望があれば、教室なども続々開いていきたいと思っています。

住民の皆さんと共に健康を考え、より健康増進を計り、又より良い地域医療の実現と実践を行なっていきたいと考えます。

町立病院内科医長 廣瀬憲治

留学生が赤池中を訪問

町内4家庭にホームステイ

現在、福岡県には五百六十人の外国人留学生がいます。金田町商工会青年部の有志で結成する「宇宙地球号交流センター」は、「国際交流を深めながら、村おこしのきっかけをつかもう」と、これら県内の大学で学ぶ外国人留学生を招き、七月十四日から一週間「ボタ山交流会」として、



▶赤池中生徒と歓談する右から周さん、林さん、サンドラさん◀

色いろな行事を行いました。赤池町にも、この内の四人の留学生がホームステイ。市場小学校、赤池中学校を訪問して、児童、生徒と交換会をしたり、上野焼を見学して、実際にろくろを回したり、興国寺で座禅を組み、赤池町商工会青年部と夜なべ談議。と日本の生活に直接触れて、泊った家庭はもちろん、地域との交流を深め、

体協空手道部 錬成大会で上位に入賞

七月六日（日）、福岡市民体育館で、第四回福岡県空手道少年錬成大会が、連盟主催、福岡県・市教育委員会、県体育協会などが後援して開催されました。

各流派から代表の千五百人の選手が参加して熱戦を繰り広げました。この大会に赤池体協空手道部からも十五人の選手が田川代表として出場し、好成績を残しました。



▶上位入賞の体協空手道部のみなさん◀

敏幸○小五の部3位 坂田早苗○中二の部優勝 長野士郎○同4位 田中英行（敬称略）

お元気ですか 保健婦です

②

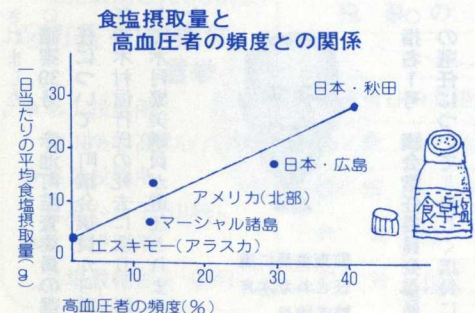
高血圧の予防 は減塩から

赤池町では病院の外来にかかっている病気の第一位は高血圧性疾患で、高血圧症、またはそれに起因する病気等です。

これは全国的なもので厚生省でも減塩を目標に食生活を改善していこうと本格的にこの対策にのり出しています。食塩と血圧との間には食塩

を多く摂取すると血圧が高くなり、高血圧の人が塩分をひかえると血圧が低くなるという密接な関係があるからです。グラフのように食塩を多くとる国ほど高血圧者の頻度が高く、日本の中でも食塩を多くとる地域ほど高血圧者が多くなっています。高血圧者は正常血圧者に比べて脳卒中や心臓病による死亡が2・5倍と、危険度が高くなります。

高血圧の予防は減塩からです。塩分は体にとって普通わずか3g位が必要だと考えられています。食物そのものの中にも少量の塩分が含まれています。一日中汗を流して肉体的労働をしている人は除いて、日本人は現在使用している半量くらいが適量です。



主な食品の食塩含有量

毎日、なにげなく食べている食品の中にも思いがけないほど、多量の食塩が含まれているものがあります。食品を選ぶ際には注意が必要です。

●みそ汁	1杯	1.5g
●かまぼこ	3切	1.5g
●塩ざけ	1切	4.9g
●のり佃煮	大さじ1杯	2.5g
●たくあん	3切	2.0g
●ハム	3枚	1.5g
●うめぼし	1枚	2.4g
●しょうゆ	大さじ1杯	3.2g

また、年金額が昭和六十一年四月から引き上げられたことにより老齢福祉年金を受けている方には四月から七月分の差額が、「国民年金特別証書」(8月上旬に交付)で支払われます。

八月期分を受け取る時は、年金証書のか、「国民年金特別証書」と印かんを指定の郵便局にご持参ください。

老齢福祉年金を受け取ったら 国民年金証書を提出しましょう

老齢福祉年金受給者のみなさん。

あなたは、八月期分(8月11日支払開始)の年金はもう受け取りましたか……?

まだ受け取っていないようでしたら、すぐに指定の郵便局で受け取りその足で年金証書を役場年金係に提出してください。

この国民年金証書を提出しませんでしたと次回からの年金が受け取れませんので、お忘れのないようご注意ください。

RKBテレビの「愛らんど九州22時」で赤池町が生んだ童謡作曲家河村光陽が放送されます。

「ローカル線で行く、愛唱歌の旅」という題で、長女河村順子さん(東京在住)の列車内でのインタビューや興国寺、福智下宮、上野焼など、光陽ゆかりの風物が放送されます。

また、上野保育所や英語、独語で「かもめの水兵さん」を歌う上野小児童など、白秋の柳川市、古賀政男の大川市などと共に放送さ



▶赤池駅でのビデオ撮り、中央右は長女の河村順子さん◀

河村光陽を放送 RKB

▽放送日 8月12日(火) 22時から

お盆の救急医療は

お盆(十四・十五日)の救急医療は、田川地区休日救急医療センターをご利用ください。

昼は、内科・外科・小児科、夜は、内科と小児科で午後六時半から十時半まで受け付けています。保険証を忘れずに、救急の場合のみご利用ください。

田川市新町 ☎45-7199

8月 福祉センターの行事

【休館日】
4日、11日、17日、25日
【福祉バス運行日】
休館日を除く毎日
【仏教講演会】
8月はお休みします
※盆休み(13日、14日、15日)

【演芸】
入館者へ自由に舞台を提供します。
ご利用下さい。
【心配ごと相談日】
7日、18日、27日
午前10時～午後3時

おわびと訂正

七月号九面、木村信行議員死去の記事の中に、「昭和四十三年町職員を依頼退職」とあったのは、「五十二年」の誤りでした。お詫びして訂正します。

やってみませんか インディアカ

インディアカは、1チーム4人。直径7cmの平たいスポンジに皮をまき、それに鳥の羽根が4枚ついたボールを、6人制バレーボールのルールで、パスやスパイクして競い合うゲームです。

9月からの会員を次のとおり募集しています。

- ▷30歳以上の女性
- ▷練習日は毎週水曜日(変更あり) 町民会館で午後8時から10時まで
- ▷年会費は千円
- ▷問い合わせ、申し込みは教育委員会へ ☎28-4100



人権作文



赤池中3年 矢山 仁

「差別について 思う」

差別。今の世の中でこれ程問題視されながらも、なおかつなかなかなくならないものはないと思う。現在、世界中でいろいろな差別がされている。人種差別、部落差別、男女差別などだ。そのどれをとっても、しようもない理由で……。

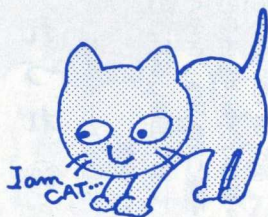
まず人種差別。これは白人による有色人種に対する差別だ。十九世紀、白人はほとんど有色人をどれいとして働かせた。その頃から約百年たった現在、どれい制はなくなったが、白人の有色人種に対する差別意識は消えうせていない。この人種差別については日本人は直接かわりあっていない様に感じる。しかし、日本人も有色人種である。白人からみると黄色なのだ。だから西洋人(白人)は日本人を西洋人並とは思っていない。だが日本は先進国であり、そういった差別を行っている国々のお得

意様でもある。それで日本人は名誉白人として南アフリカ共和国などの差別を大々的にやっている国家からあつかわれている。つまり私達も人種差別をやっているのだ(日本人にとって都合の良い差別を受けているともいえる)。だが、白人と有色人には違った所があるのだらうか。先進国から見れば、現在少々遅れた文明しか持っていないといっても、文明そのものが人間の価値を決める訳ではあるまい。私には白人と有色人との違いは皮膚の色しか発見できない。まだほかに違いがあるのだらうか。

次に部落差別。はつきりいって私にはこの差別はわからない。なんで生まれ育った所によってその人の評価が変わるのだらう。そんなに生まれながらの所というのはその人の人生にとって大きなウェイトを占めるのだらうか。どこで生まれようとその人自身の価値、権利は変わらない。今まで、あの人はすばらしい」といわれたきた人が、生まれてきた所が被差別部落だとわかったとたん軽蔑されるようになったりすることがあるのであ

たせる為のみに行なわれた差別に、どうして今の人間が苦しめられなくてはならないのか。その差別を受ける地域で生まれ育ったということその人自身の評価は変わり、権利は踏みにじられ、人生そのものが変わってしまうのだ。生まれ育った所によってその人の人生が変わってくるなんてバカなことがまかり通るのはおかしい。大切なのはその人そのもののなのに……。

男女差別。現代社会での女性の進出はめざましく、女性でも充分男性並みの仕事ができることは実証されている。それでいてまだ男性と女性の地位が違ってみられている。この男女差別も数百年も昔にやはり封建社会を成り立たせるために、男尊女卑とされていたのが今まで残ったのである。他の文化面などではとても発展したのに、日本人の心はずっとずっと同じままの様だ。女性には赤ちゃんを生むという大切な仕事もある。だから



ら男性は女性をいたわっていかなくてはならないと思う。そして男性も女性もなく、同じだけの仕事をした者には同じだけの報酬を与えなくてはならないと思う。男も女もみんな平等に。

差別をいいことだとする人はおそらくいい。だが差別はいまも行なわれている。なぜだろう……。私なりに考えてみたのだけれど、たぶん「自分はえらいんだ」と思いたいばかりに、同じ人間でも自分より肌の色が黒い、自分より生まれが悪いなどと差別し、しようもない優越感に浸っているのではないのだらうか。そんなことで差別を受けたのではたまったものではない。しかし、この差別という代物はどこにだれかが「差別をなくそう」と叫んでもなくならないだろう。差別をなくす為には、私達一人ひとりが差別に対する認識を深め、その残酷さを知り、そして差別意識を自分の心からおいださなくてはならないと思う。封建時代から行なわれてきたこれらの差別をおいだすのは容易なことではないかも知れない。しかし、差別を受けている人々のことを本当にその人の身になって考えてみれば、ぜったいに出来る。いや、出来なければならぬ。この世から差別をなくすのは、どこにだれかではなく、私達一人ひとりだと思ふ。

最後に、私の様な青二才がえらそうなることをいつてすみませんでした。でも、私は本当にこの様に思っています。



今月の解放講座

とき 8月27日(水曜日)
午後7時30分から

ところ 同和対策中央研修所

